

# 森林インストラクターの森活動報告（下刈り作業）

日 時：2020年9月13日（日） 9:00～14:00

場 所：森林インストラクターの森（都幾川）

参加者：池田、星野、横山、芳野、近江、辰雄、浅井、本田（8名）

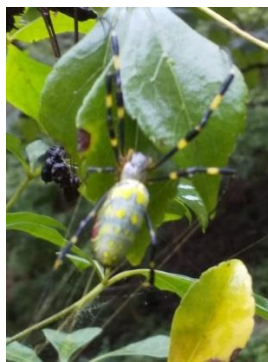
天 候：曇りのち霧雨

報告者：本田

9月になり幾分涼しくなってきた中、8時30分に8名の精鋭がマスク姿で集合、体温申告後2台に分乗して森林インストラクターの森に向かいました。

ウッドデッキに到着後、横山さんより本日の作業が説明され、ストレッチ体操をしてから下刈り場の急斜面に向かいました。前日の雨により、腰の高さまで伸びた下草は水に濡れています。この為、斜面をかき分けて進む際に、ズボンはビショビショ。カップを着てくるべきでした。霧雨となり不快指数100%の中、ススキ、ゼンマイ、オオバノイノモトソウ、イワガネゼンマイ、マツカゼソウ、ヤマフジ、ニワウルシ、チカラシバをひたすら刈っていきました。ジョロウグモが所々に目の細かい巣を作っており、これをカマで払いのけるのが一苦勞でした。それにしてもジョロウグモの糸は強力です。ヘルメットやカマの柄にジョロウグモ特有の黄色い糸がへばりつきました。

クモの巣と格闘後に周りに目を移すと、急斜面の中、皆が無心に草を刈っていました。あちこちの下草からオオカマキリが大勢出てきました。ヤマボウシの実が色付き始めているので試食してみました。甘さはこれからの様です。



下刈り終了後、気になった樹木、草本を皆で持寄り、ウッドデッキで同定を行いました。全部で25種類を確認しましたが、2種類が詳細不明で宿題としました。

今回確認された旬の花は、ダンドボロギク、シュウブソウ、ハダカホオズキ、モミジガサ、ヒメジソ、ハナタデ、ミズヒキ、オオアレチノギク、ヌスビトハギ、イヌゴマ、マツカゼソウ、等です。



昼食後、横山さんより大鎌の刃の研ぎ方についてレクチャーを受けました。大きな刃欠けの修正は、グラインダーに紙やすりを装着して磨きます。グラインダーの回転数が高すぎると刃が『焼戻し状態』でもろくなってしまいますので、3000～7000rpm程度のグラインダーが良いとの事です。砥石を使用して刃を研ぐ場合は、刃に対して垂直方向に、砥石全面を一方向に押し研いでいきます。教わったことを実際にやってみますが、刃先の部分のみに砥石を平行に当てて研ぐのは簡単ではないです。



夏の大鎌での下刈りは体にきつく、まるで体育会系ですが、山の維持には大切な作業であり、今後もこの時期は有志の皆様と一緒に無心にやりたいです。また自分は下草に隠れている岩も刈ってしまう癖があり、たまに刃先を『ガリッ』とやってしまうので、まずはこれを治したいです。